



第 19 号

令和 2 年 10 月 1 日
高山赤十字病院

病院長よりこんにちは！

拝啓 実りの秋を迎え、食がすすむ季節がやってきました。開業医の先生方はじめ関係機関の皆様には患者さんのご紹介など相互連携にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

4月同様、秋の高山祭・八幡祭も中止となり祭りのない1年を過ごすこととなります。例年、地区の神事や祭りを終えて冬支度をするご家庭も多いのではないかと思います。地域の方々にとって祭事をいかに暦代わりの大切なイベントとして1年を過ごしていращるかがうかがわれます。一方、氏子により変わらず行われる神事は例年にも増して厳かに行われることでしょう。そのため、かえって本質を垣間見る光景に出会えるかもしれません。

今年も巡ってきた読書、スポーツ、そして実りの秋を満喫しましょう。秋晴が心地よい季節、どうぞ健やかに過ごしてください。

敬具

病院長 清島 満

【同封文書】

○病院長あいさつ「病院長よりこんにちは！」

退任・新任医師のご案内 P2

先生ってこんな人 内科・健診センター 医師 金田 知子 P3

○外来担当医表 10月分

○高山赤十字病院診療案内

…患者さんによるご予約の場合に当院への紹介状と共にお渡しいただくと便利です

○地域連携係よりお知らせ

- ・診療科外来担当医師一覧（初診）
- ・診察予約申込書（FAX 送信票）

○第12回飛騨地域緩和ケア研修会開催案内



◆◆退任・新任医師のご紹介◆◆

	退 任		新 任	
	氏 名	卒年	氏 名	卒年
消化器内科	あらお まさみち 荒尾 真道 (日本消化器内視鏡学会専門医) (日本消化器病学会専門医)	H23	みすたに たく 水谷 拓	H23
血 液 内 科	いしざわ こうへい 石際 康平	H29	ともん ようすけ 土門 洋祐	H29
外 科	はっとり きみひろ 服部 公博	H28	ふじばやし せい と 藤 林 勢世	H29
脳神経外科	かわさき ともひろ 川崎 智弘 (日本脳神経外科専門医)	H20	のむら ゆういち 野村 悠一	H19
産 婦 人 科	あいきょう しんすけ 相 京 晋輔	H26	かとう ゆういちろう 加藤 雄一郎 (日本産婦人科学会専門医)	H17
歯科口腔外科 (2年目研修医)			よしだ ゆうや 吉田 宥哉	H31



◇◇『先生ってこんな人』シリーズ⑪◇◇

開業医の先生と「顔の見える関係」を築き、安心して患者さんをご紹介いただけるよう
スタートした『先生ってこんな人』シリーズ。

第11回目は、健診センターを担当する内科医・金田知子先生です。

今年4月から中濃厚生病院から赴任いただきました。

ご出身はどちらですか？

高校まで名古屋で過ごしました。高校は公立でしたが私服通学が許されており、とても自由な校風で充実した高校生活でした。その後、岐阜大学へ進学しました。

医師を目指したきっかけは？

医師になろうと思ったのはぼんやりと高校2年生の頃から思い描きだしたように思います。

母や姉が薬剤師をしており自然と医療の道を模索するようになりました。

診断や治療を通じて、より患者さんに深く関わる仕事をしたいと思い医学部へ。その頃は、小さな診療所で地域のために働くお医者さんというイメージを持っていました。

研修医1年目・2年目はいかがでしたか？

たすきがけ研修により木沢記念病院、岐阜大学病院で研修させていただきました。

木沢記念病院ではアットホームな雰囲気の中多くの先生にご指導いただき、ジェネラルなことから幅広く経験させていただきました。後半は大学に移りより専門的なことを学びました。研修2年目の後半には糖尿病内科と決め、大学勤務を経て5年目から中濃厚生病院（関市）で勤務することとなりました。





5年目からは中濃厚生病院でご勤務されたのですね。

部長クラスの先生方2名に私という数年上の先輩にあたる方がいらっしゃる状況でしたので緊張感がありました(笑)。躊躇せず相談させていただける雰囲気でしたし、時折いらっしゃる外勤の先生方にもアドバイスいただくこともあり、心より感謝しています。

金田先生は医師でもありお母さん
でもいらっしゃいます。
育児との両立はいかがですか？

職場環境に慣れてきたころ、妊娠・出産し1年間の育休をいただきました。復帰時期が決まり準備していたなか、夫の転勤が決まり状況が一転。必然的に夫は単身赴任、私は名古屋の実家にお世話になり関市の勤務先まで通勤していました。半年後、私も高山勤務となり、月、木、金曜日は健診センター、火曜日は内科再診、そのほか呼び出しが比較的少ない教育入院等を担当しています。



当院では主に健診センターで勤務いただいています。

これまで内科医として、自覚症状がある患者さんなどすでに症状の悪化が見られて病院へ足を運ぶ患者さんを診ていましたが、健診センターでは病気になる一歩手前や初期症状を感知することが仕事ですので、これまでとは異なった視点での診察が必要と感じています。

患者さんは控えめに「病院に受診するほどではないけれど…」とお話される方がいらっしゃいますが、そのための健診ですので、日常の些細な違和感やちょっとした気になることを気軽に話していただければ幸いですし、医師としてもそうして頂けるよう努めたいと思います。



早期の受診が必要な 患者さんについて

健診センターで診断することはあ
りませんが検査によっては当日結果
が判明しますので、一刻も早い専門
医への受診が必要と判断した場合は
コンサルし、可能であれば当日に受
診いただけるよう調整を行っていま
す。

また、健診結果がご本人のお手元
に届く前でも早目の精査をお勧めす
るときは、看護師から連絡させてい
ただくこともあり、のちに「あの時
健診して良かった」と思っていただ
けよう努めています。

糖尿病内科・健診センター かねだ ともこ
金田 知子 医師

糖尿病内科医としてはいかがですか？

病気に繋がる可能性がある判断したときは、日頃
の食事や生活習慣など今から出来る改善ポイントをわ
かりやすくお伝えするようにしています。

健診後、要精査であっても受診につながらない方は
意外と多くいらっしゃいますので、どのような声掛け
を行えば患者さんの意識を変えられるか常に考えなが
ら、ポンと背中を押す役目が果たせればと思っています。

高山に引っ越して約半年、飛驒の暮らしはいかがですか？

コロナ禍でなかなか遠方へ出かけられませんが、休みはひと気の少なそうな場所を選び出かけて
います。まだ子どもも小さく、自然のなかに居るだけで虫などを追いかけて楽しく遊ぶことができま
すし、私たちもリラックスした時間を過ごしています。

状況が落ち着けば色々なところへ出かけてみたいですね。



開業医の先生方へメッセージをお願いします。

直接開業医の先生方とやりとりさせていただく機会は少ないと思いますが、健診センターと内科での診察（再診）を通して、地域の方々の QOL に少しでも貢献できればと思います。健診センターでは、コンピューターが検査結果をもとに精査の有無を知らせてきますが、その後は医師が総合的に判断し結果を郵送しています。

健診の際はどんな些細なことも気軽にご相談していただけるよう努めてまいります。



■高山赤十字病院 健診センター

TEL 0577-32-1111(代) 内線 3217

FAX 0577-32-8515



いよいよ紅葉の季節ですね！